



# 岡山大学理学部

# 同窓会会報

Faculty of Science Okayama University Alumni Association



**【会則】** 平成24年3月 5日 制定  
平成30年7月25日 改正

(名称) 本会は、岡山大学理学部同窓会(以下、「本会」という。)と称する。  
(目的) 本会は、会員相互の親睦・情報交換、並びに資質の向上を図り、併せて岡山大学理学部及び自然科学研究科の発展を目的とする。  
第2条 本会は、会員相互の親睦・情報交換、並びに資質の向上を図り、併せて岡山大学理学部及び自然科学研究科の発展を目的とする。

(事業) 第3条 本会は、目的を達成するために次の活動を行う。  
一 総会の開催  
二 会報の発行  
三 会員名簿の管理  
四 その他、本会の目的達成に必要な事項

(構成) 第4条 本会は、所在地を岡山市北区津島中三丁目1-1岡山大学理学部内に置く。  
2 本会は、事務局を設け、事務職員を置くことができる。  
3 本会は、必要な学科並びに地域に支部を設置することができる。支部には代表者を置く。

(学科同窓会) 第5条 本会は、学科及びそれに関連する大学院卒業者に別に組織する同窓会(以下「学科同窓会」という。)と連携協力を得て、本会の事業を行う。

(会員) 第6条 本会は、次の項に掲げる会員をもって構成する。  
一 正会員  
岡山大学理学部及びそれに関連する大学院の卒業生・修了生  
二 学生会員  
岡山大学理学部及びそれに関連する大学院の在学学生学生会員は、卒業することにより正会員となる。  
三 特別会員  
岡山大学理学部及びそれに関連する大学院の教員及び技術職員並びに事務(室)長として在職した、又は在職する者  
その他、理事会において入会を認めたる者  
2 本会の会員は、氏名・住所・電話番号・勤務先・メールアドレスなどの変更が生じたときは、本会事務局に届け出るものとする。

(学科同窓会の会員) 第6条の2 学科同窓会の会員は、本会の正会員に準じて取り扱うこととし、その取扱いは別に定める。

(役員) 第7条 本会に、次の役員をおく。  
一 会長 1名  
二 副会長 1名  
三 理事 若干名  
四 監事 2名

第8条 役員の仕事は次のとおり定める。  
一 会長は、会務を統括する。  
二 副会長は、会長を補佐し、事務局を統括する。  
三 理事は、会長に協力し、会務を執行する。  
四 理事は、各学科会員を代表し、本会と各学科会員との相互連絡にあたる。  
五 理事は、本会の目的達成に必要な役務(総務・会計・広報・名簿管理等)を分担する。  
六 監事は、会計及び会務を監査する。

第9条 役員の出選方法は次のとおり定める。  
一 会長は、会員の中から推薦するものとし、理事会で選出する。  
二 副会長は、岡山大学理学部長をもってあてることとする。  
三 理事は、学科毎に学科長を含めて2名程度とし、理事会で選出する。  
四 監事は、理事会で選出する。  
五 会長、副会長、理事、監事の任期は2年とし、再任を妨げない。

(会議) 第10条 会議は、総会、理事会及び役員会とする。  
第11条 総会は、本会の重要事項について審議が必要な場合において、理事会の議を経て、会長がこれを召集する。  
第12条 理事会は、会長、副会長、理事及び監事をもって組織し、会長がこれを召集する。  
2 理事会の議長は会長または副会長が充てる。  
3 理事会は、年1回以上開会し、次の各号に掲げる事項を審議する。  
一 会則及び施行細則の改正に関する事項。  
二 会務及び業務報告に関する事項。  
三 決算承認及び予算の議決に関する事項。  
四 その他、役員会において必要と認めたる事項。  
4 理事会は役員の過半数の出席をもって成立し、議事は、出席者の過半数をもって決する。

第13条 役員会は、会長・副会長で構成する。  
2 役員会は、本会の会務の企画又は執行の必要に応じて随時開催し、協議の結果は理事会に提案並びに報告をする。  
(支部の地域) 第14条 本会の目的を達成するため、理事会の承認を得て、地域ごとに支部を置くことができる。

(支部組織) 第15条 支部は、その地域内の会員をもって組織する。  
(支部地域変更) 第16条 支部は、理事会の承認を得て、地域を変更することができる。

(支部の役員) 第17条 支部に役員として、代表幹事1人及び幹事若干人を置く。  
2 支部の役員は、当該支部の会員の中から選出する。  
3 代表幹事は、支部を代表し、支部の会務を執行する。  
4 幹事は、代表幹事を補佐する。

(支部の会則) 第18条 各支部は、当該支部に関する会則を定めることができる。  
2 支部がその会則を定めた場合は、理事会に報告するものとする。

(支部幹事会) 第19条 各支部はそれぞれ支部幹事会を置き、代表幹事及び幹事をもって構成する。  
2 支部幹事会は、必要に応じ、代表幹事が招集し、代表幹事がその議長となる。  
3 支部幹事会は、支部の運営に関する事項を協議する。

(支部の経費) 第20条 支部の経費は、当該支部所属会員の負担とする。  
2 本会は、支部に補助金を交付することができる。

(会計) 第21条 本会の運営に要する経費は、会費・寄付金・その他の収入をもってあてる。  
第22条 本会の会費を次のとおり定める。  
一 正会員は、入会金(終身会費)5,000円を納付するものとする。ただし、既に学生会員である者の入会金は不要とする。  
二 学生会員は、入会金(終身会費)5,000円を入学時に納付するものとする。  
三 既に学科同窓会の会員であって本会に入会する者は、その入会金を免除する。  
四 会費の納付方法については、別に定める。

第23条 本会の運営に要する経費にあてるため、会員及び学科同窓会等から寄付金を受領することができる。  
第24条 会計担当理事は毎年、理事会或いは会報で本会の会計を報告する。  
第25条 監事は、毎年本会の会計を監査する。  
第26条 会計担当理事は、正会員の要求があれば会計帳簿を随時開示しなければならない。  
第27条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(補則) 第28条 この会則に定めるほか、本会に関して必要な事項は、理事会の議を経て別に定めることができる。  
2 理事会は、会則等重要な規定の改正を会報により報告するものとする。

(附則) 1 この会則は、平成24年3月5日から施行する。  
2 この会則は、平成24年3月卒業者から適用する。  
3 会計管理は、事務局が行い代表者は事務局長とする。

(附則) 1 この会則は、平成30年7月25日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

岡山大学理学部同窓会 別表				
名称	地域名	設立年月日	代表者	連絡先
岡山大学理学部同窓会	本部	平成24年3月5日	会長 本水 昌二	理学部事務局 086-251-7764
岡山大学理学部同窓会 関東支部	関東地区 (東京、千葉、神奈川、埼玉、 栃木、群馬、及びその周辺)	平成30年4月1日	代表幹事 米森 重明	米森 重明 090-5330-2391

## 岡山大学理学部同窓会役員名簿

令和2年4月1日現在

役員	氏名	所属等
会長	本水 昌二	名誉教授
副会長	富岡 憲治	理学部長(教授)
理事	谷口 雅治	数学科長(教授)
理事	池畑 秀一	名誉教授
理事	横谷 尚睦	物理学科長(教授)
理事	味野 道信	グローバル人材育成院教授
理事	久保園 芳博	化学科長(教授)
理事	岡本 秀毅	化学科准教授
理事	川本 平山	全学同窓会理事(化学科)
理事	中越 英樹	生物学科長(教授)
理事	西村 美保	生物学科助教
理事	浦川 啓	地球科学科長(教授)
理事	野坂 俊夫	地球科学科准教授
理事	横谷 尚睦	附属界面科学研究施設長
監事	市岡 優典	副学部長(教授)
監事	野沢 徹	副学部長(教授)

## 令和元年度 岡山大学理学部同窓会会計報告

(単位:円)

収 入		支 出	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
1 前年度繰越	2,298,041	1 事業費	183,144
2 会費	605,000	(1) 同窓会実施支援費	33,534
一般学生(Alumni) 605,000		歓迎会参加費6名 15,000	
@5,000 × 121名		ホームカミングディ茶菓子 18,534	
3 預金利息	22	(2) 会報作成 1,500部	148,050
4 立替金	30,914	(3) 就職セミナー講師謝金 1名	1,560
郵便料立替金 Alumni 377通		2 事務費	85,993
		(1) 通信運搬費	77,385
		DM便(同窓会案内 1,005件) 77,385	
		(2) 事務用消耗品費	8,608
		宛名用紙、テープ、印章 8,608	
		3 立替金	30,914
		(1) 郵便料立替金 Alumni 377通	30,914
		4 繰越金	2,633,926
		(1) 普通預金	2,619,284
		(2) 小口預金	14,642
合 計	2,933,977	合 計	2,933,977

## ■編集後記 岡山大学 Alumni(全学同窓会)の新たな国際奉仕活動

日本国内で1月に初めての感染者が確認されてから、COVID-19の猛威は衰えることなく、世界は重苦しい生活を余儀なくさせられている。岡山大学では多くの海外からの留学生を受け入れているが、母国を離れて勉学に励んでいる留学生の生活が困窮し、学業の継続が困難な状況に至っている。Alumni(全学同窓会)は令和2年5月開催の理事会において、「新型コロナウイルス感染症に伴う緊急学生支援事業について」審議し、全学で約600名の正規留学生に対して、いち早く緊急的生活支援を実施した。異国の地において新型コロナ禍の中で孤軍奮闘の留学生への一助になることを願ってやまない。

岡山大学 Alumni(全学同窓会) 理事 川本平山

## お問い合わせ先

岡山大学理学部同窓会事務局  
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学理学部内  
TEL:086-251-7764 FAX:086-251-7777  
E-mail:alumni-sci@okayama-u.ac.jp  
<http://www.science.okayama-u.ac.jp/alumni-sci/>



OKAYAMA UNIVERSITY

## 創立71周年日のできごと

理学部同窓会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大下ではありますが、大過なくお過ごしのことと拝察いたします。

昨年末に新型コロナウイルス感染症が発生し、本年1月以降、わが国でも感染者が拡大し、本学でも卒業式をはじめ、多くの恒例行事が取りやめになりました。当たり前と思っていた対面授業はオンライン授業に代わり、学生の課外活動や入構禁止措置も取られました。With Coronaの下では、社会がNew Normal(新しい常態:新しい生活・行動様式)に代わらざるをえませんが、対面授業、課外活動などが早く再開され、学生の皆さんが先生や友人、知人などと自由に会い、歓談し、討論できる状態に戻ってほしいと思います。

理学部同窓会は先輩・後輩の枠を越え、会員同士の親睦や情報交換、また学生会員の就職・進路支援活動などを行っています。同窓生や学生を対象に、独自の講演会、セミナーなども行っています。将来的には、Zoomなどの会議、セミナーシステムを活用し、同窓生の方にもリモート参加いただけるようにしたいと思います。

現在、Alumni支部が東京、愛媛、広島、東海、関西に設立されています。理学部関東支部につき支部設立等、ひきつづき理学部同窓会発展にご支援を賜りたく、お願い申し上げます。なお、皆様におかれましては、新型コロナ感染症に罹患なされぬよう、祈念いたします。

## 岡山大学理学部同窓会会員の皆様へ

皆様いかがお過ごしでしょうか。岡山大学理学部同窓会は発足9年目を迎えましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、岡山大学では異例づくめの状況が続いております。まず、入学式が実施できず、授業についても1学期はすべてネットワークを通じたオンライン授業での実施となりました。2学期以降、少しずつですが対面式の講義・実験・演習などが始まっております。しかしながら、感染防止対策の観点から、密閉、密集、密接の3密を避け、マスクの着用や手洗い、手指消毒などの徹底を期している状況です。いつになればこの状況から抜け出せるのかが見通せない、手探りの状態が続いております。

このような中ですが、理学部に関連した明るい話題として、昨年報告させていただきました異分野基礎科学研究所の建物については、現在2号館南の駐車場であったところに建築作業が進められ、本年度中に完成する予定です。理学部2号館については、改修に向けて概算要求をしており、認められれば来年度に着工の予定です。新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な教育・研究上の制限がある状況ではありますが、理学部教職員一同、教育・研究に一層力を注ごうとの思いを改めて強くしているところです。

同窓生の皆様には、日ごろより理学部にご支援を頂いているところですが、今後とも引き続きご支援とご助言を賜りますよう、お願い申し上げます。今年は残念ながらホームカミングデーも中止が決定されておりますが、新型コロナウイルス感染が沈静化しましたならば、同窓生の皆様にも、是非大学に足を運んでいただき、理学部の発展をご覧いただければ、大変嬉しく存じます。最後になりましたが、皆様が新型コロナウイルス感染から守られ、ますます活躍されますとともに、理学部同窓会の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

## ▼活動報告

2020.8.7~8.17 理事会(メール会議)開催	2018.4.1 理学部同窓会関東支部設立	2014.8.21 理事会開催
2019.10.26 理学部同窓会を開催	2017.10.21 理学部同窓会を開催	2013.10.19 理学部同窓会を開催
2019.9.4 理事会開催	2017.7.26 理事会開催	2013.9.4 理事会開催
2019.7.27 理学部同窓会関東支部総会を開催	2016.10.22 理学部同窓会を開催	2013.3.6 理事会開催
2019.5.22 理学部同窓会関東支部交流会を開催	2016.9.7 理事会開催	2012.10.20 設立記念総会並びに懇親会開催
2018.10.20 理学部同窓会を開催	2015.10.17 理学部同窓会を開催	2012.7.4 理事会開催
2018.7.28 岡山大学 Alumni(全学同窓会)	2015.9.2 理事会開催	2012.5.25 ホームページを公開
東京支部、各学部支部と合同総会・交流会	2014.11.20 理事会開催	2012.3.5 岡山大学理学部同窓会設立
2018.7.25 理事会開催	2014.10.18 理学部同窓会を開催	



New Normal With Conona  
三密回避と Social Distancing 確保;  
手洗いとうがい、早朝散歩励行;  
集筆と Web 環境の有効活用などなど。

岡山大学理学部同窓会 会長  
(昭和43年大学院修士課程修了)  
**本水 昌二**



岡山大学理学部長  
**富岡 憲治**



# 各学科近況報告

## 数学科 Department of Mathematics



数学科は例年通り4月に新学期を迎えました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用し、人と人の距離を保つための新入生・在学生オリエンテーションが行なわれました。その後、感染症拡大が続いたため入構制限が厳しくなり、講義・演習はオンラインでのみ行なわれるようになりました。7月になり一部の講義で対面授業が許可されるようになり、期末試験も許可申請の上で対面形式で行えるようになりました。なお、数学科において4月より大下承民先生が教授に昇進され、新しく滝間太基助教と寺本有花助教がご着任になりました。対面授業が再開され学生が早く授業を通常形式で受講できるようになることを願っております。

数学科長 谷口 雅治

### VOICE 卒業生からの声

私は3年間吉野・橋本研に在籍し、2020年に修士号を得ました。今は総務省統計局で働いています。世の中の動向を映し出す鏡である統計への需要は年々高まっており、その数値を間違いがないように先輩方と一緒に確認していく作業は大変ですが、非常にやりがいがある仕事です。大学院時代に学んだ、小さな努力を積み重ねていくことでやがて大きな結果と達成感が得られるということをお忘れずにこれからも目の前のやるべきことに一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

上本 理紗子  
(2020年3月 自然科学研究科博士前期課程修了)



## 化学科 Department of Chemistry



今年は、COVID-19の感染拡大に伴って、第1学期の講義開始が4月下旬に延期されるとともに、すべての講義がオンライン講義に移行しました。6月中旬の第2学期開始以降はオンライン講義をベースに一部の講義は対面講義となっており、学生実験等も再開されました。オンライン講義の中でも、学生諸君は一生懸命勉強してくれていて、試験においても良い理解度を示しているものもあります。研究活動は、一時停止して、教員・大学院生・4年生ともに自宅での関連分野の情報収集活動や論文作成を主としておりましたが、徐々に許可制の下で研究活動が再開されつつあり、各教員は学生・大学院生ともに集中した研究活動を進めているところです。COVID-19については未だ気が許せない状況が続いておりますので、同窓生の皆様におかれても、くれぐれもご自愛ください。

化学科長 久保園 芳博

### VOICE 卒業生からの声

理学部化学科卒業後は自然科学研究科に進学し、引き続き界面化学研究室で研究を行っています。現在はグラフェンとトポロジカル絶縁体的一种であるBi<sub>2</sub>Se<sub>3</sub>系の伝導特性評価について研究しています。学部生の頃に比べ活動内容も本格化し、失敗することも増えましたが、スタッフの方々や先輩方に助けられ、毎日充実した研究生生活を楽しく過ごしています。今後も研究に精を出し、大学院卒業までにさまざまな成果をあげたいと思います。

三浦 明香里  
(2020年3月 理学部化学科卒業)



## 物理学科 Department of Physics



令和2年4月から、石野研究室にウーマンテニュアトラック(WTT)教員としてSteve Samantha Lynn先生をお迎えしました。外国人教員の数が増え続けており、普段から外国語の必要性を実感する学生さんが多くなってきているのではないのでしょうか。なお、新型コロナウイルス対策で対面授業を実施できない大学が多い中ですが、岡山大学では対面授業も始まっています。研究室での研究活動も、感染対策に注意を払いながら、実施することが出来ており、最新の研究成果が発表されています。また、このような状況ですが、しっかりと就活の内定をいただいている学生さんを見てみると、随分とたくましくなったのだと感心させられます。研究や教育の最新情報については、学科HP (<http://www.physics.okayama-u.ac.jp>) で随時更新しています。卒業生の皆さん、ご父兄の皆さんも是非ご覧いただければと思います。



▲石野宏和教授(左)と Steve Samantha Lynn 助教(右)

物理学科長 横谷 尚睦



## 地球科学科 Department of Earth Sciences



2020年3月に鈴木茂之教授が定年退職され、4月にははしもとじょーじ先生が教授に昇任、また、寺崎英紀先生が大阪大学から教授として着任されました。現在の教室メンバーは教授6名、准教授4

名、助教1名、事務担当職員1名、技術職員1名です。なお、はしもと先生の昇任で空いた准教授については後任を検討中です。今年度の新入生は27名、3年次編入生は1名です。COVID-19の影響のため、ほとんどの学生が4月以来長期間にわたり大学に出ることが出来ない状況が続いています。7月現在、おもにオンラインによる授業が行われていますが、同級生とつながりのない新入生や3年次編入生にとっては、難しい大学生活が続いているのではと懸念しています。このような厳しい状況下ですが、4年生や大学院生は卒業に向けて、すこしずつ研究を開始または再開しています。また、就職の内定を得たという明るい話題もあります。OB・OGにおかれましても、困難な状況乗り越えてますます活躍されることを祈念します。今後とも、地球科学科に対するご支援のほどよろしく願っています。

地球科学科長 浦川 啓



## 附属臨海実験所 Marine Laboratory



写真上、マホヤ(脊索動物)：北日本の低水温域では食材としておなじみですが、瀬戸内海にも生息し、写真のような美しい白色個体も混じります。しかし近年の温暖化が祟るか、実習ではなかなか見られない動物になってしまいました。

附属臨海実験所では生物学科学生の臨海実習、学内外向けの公開臨海実習などがあり、これらは基本的には玉野時代(?)からの伝統に基づいた、生命の多様性から生命現象の生理的メカニズムなどの内容を基礎としています。また近年は環境DNAなど先端的な実験などの様々なメニューが加えられました。しかし、今年度は皆様ご存じの状況のため、実施できなかった実習もあり、やれても満足な実施にはなりません。研究活動については何とかやっていますが、やはり学外との共同研究活動などに支障が出ています。

所長 坂本 竜哉



## 附属界面科学研究施設 Laboratory for Surface Science



気体と液体、液体と固体など異なる物質同士が接触する境界面を界面(表面)と呼びます。普段は余り使わない言葉かもしれませんが、石鹸などの洗剤があぶらになじみやすい部分と水になじみやすい部分を併せ持つ分子(界面活性剤)を主成分として含むことを考えると、我々の生活にも密接に関連していることが想像できると思います。界面(表面)における原子、分子の配列は物質内部(バルク)とは異なっているため、界面に特有の性質が発現します。そのため、界面(表面)においてバルクとは異なる特性の探索が活発に行われています。附属界面科学研究施設では、人間の生活に役立つ特性を示す物質の開発を目指し、物理系と化学系の教員がそれぞれの専門分野の研究を展開してきました。また、広島大学放射光科学研究センターに設置された岡山大学ビームライン(上図)を活用し教育研究を行ってきました。界面(表面)を利用した新たなデバイス開発や超伝導(ある種の物質の電気抵抗が、その物質に特有な温度(超伝導転移温度)以下でゼロになる現象)を示す新物質開発と超伝導機構の解明を目指して活発な研究が行われています。

施設長 横谷 尚睦



## 異分野基礎科学研究所 Research Institute for Interdisciplinary Science



2016年4月に発足した異分野基礎科学研究所は5年目を迎え、それぞれの専門分野の研究の深化と異分野融合研究を進めてきました。外国人教授が主催する物理系と生物系の研究グループも優れた研究成果を出しつつあり、留学生も大学院に順調に受け入れ、研究所の国際化も進んできました。研究所発足以来の悲願は、分散している各研究グループが同じ建物で研究を進めることでした。幸いなことに、研究所が入る新棟の建設が始まり、本年度末には完成する予定です。来年度から研究所の多くの研究グループが同じ建物で研究を始めることになり、これまで以上に研究の深化、国際化、異分野融合が大きく進展すると期待しています。

所長 高橋 裕一郎

